

医療安全ワークブック

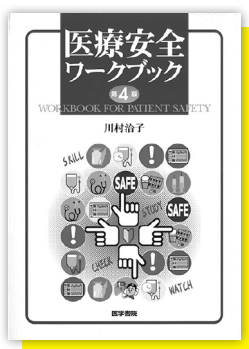
第4版

著：川村治子

定価：本体2800円＋税／発行：医学書院

TEL：03-3817-5657

知らない！と患者に重大な結果を招きかねない必須知識に絞り、その根拠からわかりやすく解説した医療安全の定本の改訂版。最新の医療安全対策をふまえて記述を見直し、後発医薬品を含む新たな薬剤や電子カルテでの問題など、現在の看護現場の状況に即した内容にアップデートした。薬剤・機器の写真も刷新。医療安全の授業だけでなく、演習、実習前にもおすすめ。



新生児学入門

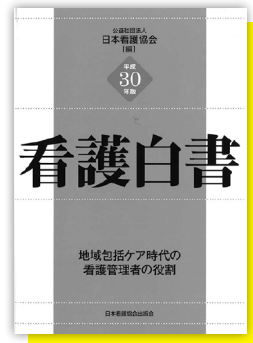
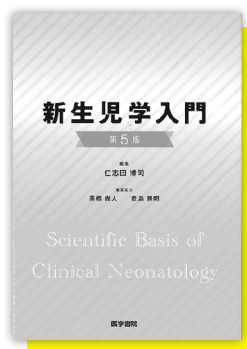
第5版

編集：仁志田博司／編集協力：高橋尚人、豊島勝昭

定価：本体5800円＋税／発行：医学書院

TEL：03-3817-5657

新生児医療の基礎知識や考え方をわかりやすくまとめた好評のサブテキストが大幅改訂。本版では、最新の知見や情報に加え、新たに「新生児蘇生」「災害と新生児医療」の章を立て、さらに、近年重要視されている「フォローアップ」の項目も追加。看護や助産の学生をはじめ、臨床で新生児医療に従事する看護師、助産師などすべての医療者の必読書。



看護的思考の探究

「医療の不確実性」とプラグマティズム

著：吉浜文洋

定価：本体3000円＋税／発行：ゆみる出版

TEL：03-3352-2313

医療という不確実な状況にかかわる「看護的思考」とはどのような思考なのか。現在主流となっている看護過程をめぐる議論から焦点を当て、デューイ、ショーンのプラグマティズム哲学を援用し、実習場面などから議論を展開。マニュアルでは対応できない場面でこそ発揮される省察的実践者の看護的思考とは何かを探る。看護の思考について一石を投じる一冊。

平成30年版 看護白書

地域包括ケア時代の看護管理者の役割

編：日本看護協会

定価：本体3200円＋税／発行：日本看護協会出版会

TEL：0436-23-3271

地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の病院、施設、行政などの看護管理者には地域の看護の質向上、看護人材の活用やキャリア支援など、地域全体を見すえたマネジメントの視点をもつ新たな役割が期待されている。本書では、制度や政策の動向、日本看護協会の取り組み、各地の看護管理者の実践報告から、看護に求められる役割を模索する。